

ご町内のみなさん、日本共産党です。

熊本県を中心におこった大地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。地震から1週間以上たちましたが、被災地では、いまなお余震が続く中、9万人もの被災者が不自由な避難生活を強いられています。

しかも避難所に入りきれなかったり「建物の中にいるのが怖い」と、多くの方が自動車の中など屋外での避難生活を強いられており、その中で「エコノミークラス症候群」などで10人以上が亡くなっています。

せっかく助かった命をこうした形で失うことは、政治の責任でなんとしても防がなくてはなりません。日本共産党は、屋外の避難者のための大量のテントの確保、被災者の健康管理、体を伸ばせる避難所の確保、避難所の環境改善などの緊急対策を政府に求めています。また、党としてもできることはすべて行なっていく決意です。

ご町内のみなさん、いま日本共産党は、「熊本地震・救援募金」にとりこんでいます。日本共産党に寄せられた救援募金は、ただちに関係自治体に届け、すべて被災者救援・支援にあてます。どうか救援募金へのご協力を心からお願いいたします。

ご町内のみなさん、日本共産党です。

熊本地震に対する政府の対応に国民の中で疑問の声が広がっています。

一つは、地震が今後どのように広がるか予測がつかないもとで、いまなお鹿児島県にある川内（せんだい）原発を動かし続けていることです。

地震被害で新幹線、高速道路が不通になっています。万一、原発事故が起きた場合に、住民の避難に大きな支障が生まれます。電力も足りており、原発を動かし続ける必要性はありません。

原発に限って「想定外」は絶対に許されません。日本共産党は、不測の事態に備えて原発はただちに停止すること、少なくとも専門家の力も借りて真剣な検討を行い住民の不安にこたえるべきだと強く求めています。この声をもっと広げましょう。

また、支援物資の輸送は自衛隊のヘリで十分対応できるのに、わざわざ米軍のオスプレイという軍用機を投入しました。オスプレイは「未亡人製造機」と呼ばれるほど頻りに墜落する危険なしろものです。また着陸時の風圧と熱がものすごく、救援活動にはまったく不向きです。

ご町内のみなさん、地震の被害が拡大する中、政治に求められているのは、政治的パフォーマンスではなく、党派をこえて救命・被災者救援に全力をあげることでないでしょうか。

ご町内のみなさん、いま日本共産党は、「熊本地震・救援募金」にとりこんでいます。日本共産党に寄せられた救援募金は、ただちに関係自治体に届け、すべて被災者救援・支援にあてます。どうか救援募金へのご協力を心からお願いいたします。